

クラスの様子【9月号】

●ひよこ組 **今月の目標** 保育士、お友達との関りを深める。

ひよこぐみは8月に新しいお友達が一人加わり、全員で7人になりました。

8月は一か月を通して天気の悪い日や体調が優れない子が多かったこともあり、戸外活動はほとんどなく、室内で遊んで過ごすことが多い一か月になりました。しかし、そのお陰もあり、子ども達の室内での過ごし方、お部屋においてあるおもちゃの使い方、遊び込み方がとても上手になりました。特に子ども達は今、型はめのおもちゃが大好きで、多くの子が上手に型におもちゃを入れられるようになり、型はめが子ども達の手の届かない所にある時には指を差しながら「んっ!」「んー!」とアピールしてくれることも多いです。みんなに人気があるので取り合いになったり、他の子に取られないように大きな型はめのおもちゃを一生懸命抱えて他の子から逃げるような姿もあったりもして、子ども達の行動のひとつひとつから本当に様々な成長（指先・身体的な発達、自分の思い・喜怒哀楽の感情の表出など）をしっかりと感じる事ができ、我々保育士もとても嬉しい気持ちになります。また、9月から新しいお友だちが2人増え9人になります。これからも子ども達の行動ひとつひとつの中に見える子ども達の成長、発達を保護者の皆さんと一緒に見守っていければと思います。(安田)



●りす組 **今月の目標** のびのびと身体を動かして遊ぶことを楽しむ。

8月は水あそびや運動あそび・リズム遊びや製作など様々な活動をして楽しみました。水あそびでは、お兄ちゃん・お姉ちゃんの姿を見たり、お友だちと遊ぶ中で積極的に水に触れて、楽しむことが増えてきました。運動あそびやリズム遊びでは自分のしたいことがよくわかっていて、自分で選んで取り組むことができています。最初は様子を見ている子も友だちがしているところを見て自分のペースで挑戦しようとする気持ちが育ってきているようです。今後も一人ひとりの思いに寄り添いながら様々なことにチャレンジしていければと思います。

日常生活では、子ども同士や保育士との会話を楽しむことが増えてきました。自分なりに言葉や動きで表現しようとするのも多いので気持ちをしっかり受け止め、共有しながら言葉で表現する楽しさを知り、会話の中でたくさんの言葉に触れていければと思っています。(平塚)



●うさぎ組 **今月の目標** 戸外で体をたくさん動かして遊ぶ。友だちと一緒に遊ぶことを楽しむ。

8月は雨の日が多く続きましたが、天気の良い日にはプールや水遊びを思いきり楽しみました。衣服の着脱においても、自分でできることが増え、日に日に子ども達に自信がついてきているように感じました。また、プールでA君がB君のおもちゃが欲しくて取り合いになっており、その様子をジーンと見ているC君がいました。C君はしばらく二人のやりとりを見た後、少し考えながら自分の持っているおもちゃを見て、A君に自分のおもちゃを「はい、かしてあげる」と渡していました。A君は驚きながらも嬉しそうに「ありがとう!」とC君に言うと、C君も嬉しそうににっこり笑って遊び始めていました。保育士が仲介に入る前に子ども同士で解決し、みんなが納得して遊び始めたことに大きな成長を感じ、嬉しくなりました。言葉がたくさんでるようになったことで子ども同士の関わりがぐっと増え、一緒に遊ぶことの楽しさも感じられるようになってきたように思います。すぐに大人が子どもの中にはいって行くのではなく、子ども同士のやりとりを十分にできるような環境を作り、見守っていきたいと思います。(ゆい)



クラスの様子【9月号】

●さくら・くぬぎ・とちのき組 **今月の目標** ・戸外でたくさん身体を動かす。

・生き物や植物などに触れたり、観察したりして発見を楽しみ、季節の変化を感じる。

8月はプール遊びや水遊び、虫探しなど夏ならではの遊びを楽しみました。プール遊びでは、水が好きな子、苦手な子がいるため、子ども達に尋ねながら選択制で活動しました。コロナ感染対策・安全対策として、少人数での入水となりましたが、水が苦手な子どもはどうして苦手なのかをじっくりと聞き、そのためにはどのようにしたらいいのかを友達同士でも一緒に考えました。顔に水がかかるとやかけられることが苦手という子どもも、「じゃあ水を少なめにしたらどう？」「顔じゃないところだけは？」という声があがりました。入ってみると言ってみると「大丈夫だった」「楽しかった」と話す子どももおり、子どもたち同士の一つの成長だと感じました。苦手、嫌だからしないばかりではなく、そのためにはどのように工夫したらやってみようかな、と思えるようになるのかを周りと共に考えながら考えていくことも時には大切なことだと思いました。そのようなことを踏まえて、子ども達一人ひとりの気持ちに寄り添い、関わっていきたいと思います。



異年齢の生活にも慣れてきて、年少組の子ども達は4月から初めて異年齢クラスに入ったばかりですが、年上の子の姿をよく見るようになり、見よう見まねでできないこともやってみようとしたりとできることも増えてきたように思います。逆に年中・年長組の子たちは年下の子のお手本になるように行動したり、時には教えてあげたりする姿があります。人に優しくしたり、気持ちがあぶつかってしまった時には、自分の気持ちを伝え、相手の気持ちにも気付くなど保育園の集団生活だからこそ育つのだと思うので、子ども達の側で見守っていきたいと思います。9月に入り、少しずつ秋にも近づいてくるため、戸外でたくさん身体を動かしたり、生き物や植物などの自然に触れたり、観察してみたりと様々な発見や興味が広がっていくといいなと思っています。(渡辺)

